



ライズは発酵菌を培養した微生物酵素資材ですが

発酵ケイ酸資材でもありません。ライズは貝化石由来の発酵した植物に吸収されやすいコロイド質ケイ酸を約26%含んでいます。

水稻へのケイ酸の効果
 水稻のイモチ病抵抗性の増加
 水稻の倒伏の防止
 水稻の葉の受光体勢の改善
 水稻の収量の増加
 水稻の高温・低温・日照不足対策
 (高橋英一著「作物にとってケイ酸とは何か」2007年 農文協より)

ライズの効果的な使い方

目的	時期	使い方	施肥量
育苗 健苗の育成、耐病性のある頑丈な苗に育てる「苗半作」。	育苗時	用土に混合	2% (体積比又は重量比どちらでも可) ※苗箱 約250枚/1袋
稲ワラ分解 水田の稲ワラを発酵分解しながらワラとライズの有効ケイ酸を補給する。米の食味・品質向上。	秋耕起又は春耕起時	すき込み	2袋(30kg)/10a ※含有ケイ酸：約9kg
ケイ酸追肥 稲の生育中頃以降のいもち病・倒伏対策。穂を充実させる。米の食味・品質向上。	中干し～幼穂形成期(6月後半～7月前半)	散布	2袋(30kg)/10a ※含有ケイ酸：約9kg

ライズの成分	ライズの微生物
コロイドケイ酸 26%	一般生菌 4.0×10 ⁹ /g
炭酸カルシウム 5.5%	乳酸菌 2.9×10 ⁹ /g
多数のミネラル 苦土,マンガン,鉄,銅,亜鉛 他	酵母 5.0×10 ⁶ /g
※ケイ酸は主原料の貝化石由来	糸状菌 1.0×10 ⁷ /g
※ライズにNPK成分はほとんどありません	放線菌 1.0×10 ⁷ /g
容量：15kg入り/袋 (粉状,粒状)	

【ライズは有機JAS規格に適合する資材です】